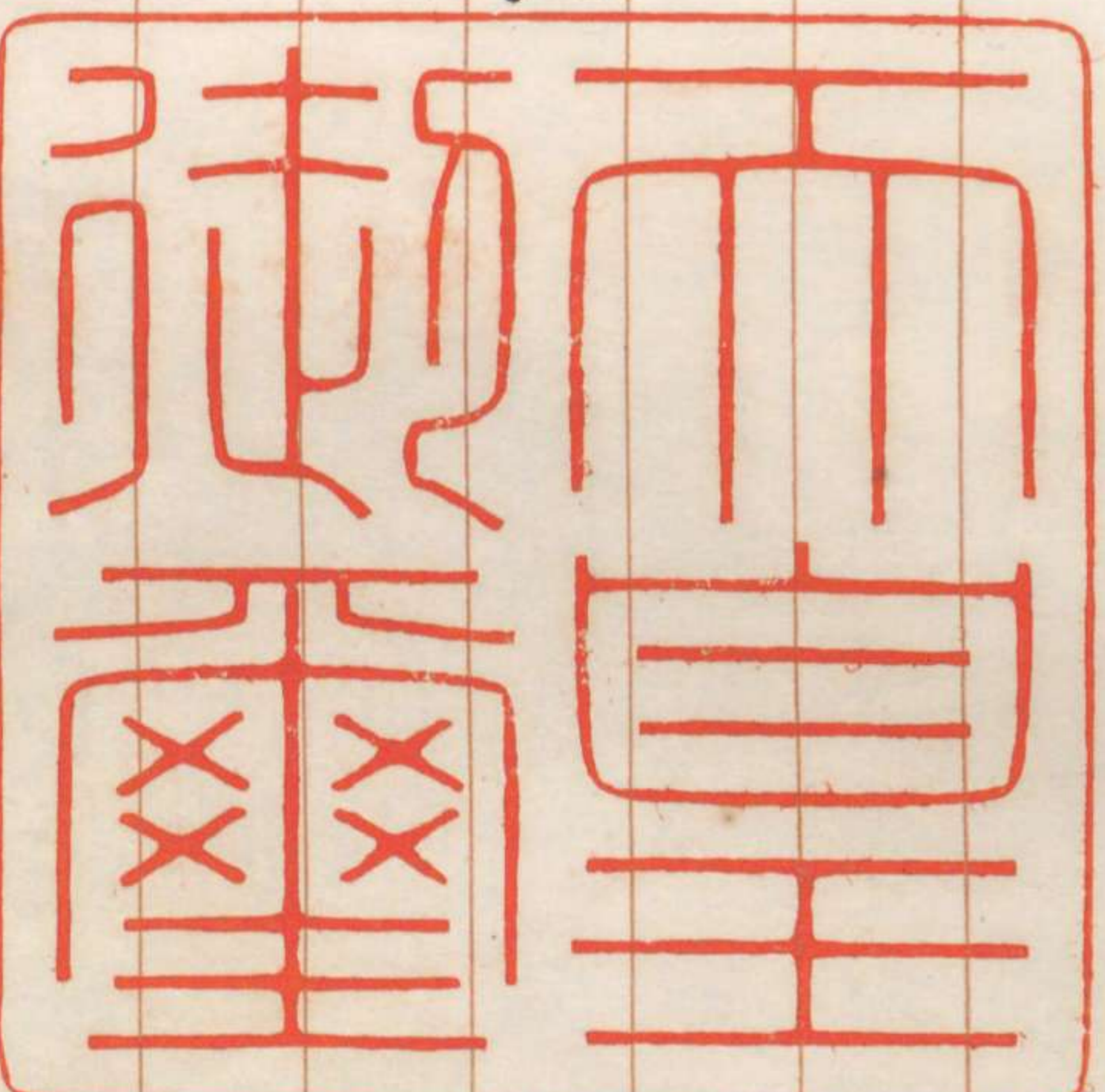


勅令第五十四号



朕陸軍戸山學校條例ヲ裁可シ茲ニ之  
ヲ公布セシム

睦  
仁



明治三十年十月十八日





内閣總理大臣伯爵伊藤博文  
陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第五十四號

陸軍戸山學校條例

第一條 陸軍戸山學校ハ隊附將校下士  
ヲ分遣シ學生ト為シ步兵戰術射擊體  
操并ニ劍術ノ原理ヲ研究セシメ且其  
演習ニ關スル教則ヲ一定ナラシメ常  
ニ内外戰術進步ノ形況ヲ知悉シ步兵  
ノ教育一般ノ改良ヲ圖ルヲ目的トス  
ル所トス

第二條 本校ニ戰術科學生射擊科學生



體操科學生及教導大隊ヲ置ク

第三條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長 歩兵大佐

次長 歩兵中少佐

副官 歩兵大尉及中尉

教官 歩兵少佐及大中少尉

軍吏

軍醫

第四條 校長ハ監軍ニ隸シ校務ヲ總理シ學術進歩ノ責ニ任ス

第五條 校長ハ懲罰權并ニ校附官僚學生ノ休暇付與權ヲ有スルコト聯隊長ニ同シ

第六條 次長ハ校長ヲ輔佐シ専ラ教育ノ事ニ任シ兼テ校中ノ庶務及經理事務ヲ監視ス

第七條 副官ハ校中ノ庶務ヲ掌リ其下ニ下士及陸軍屬ヲ置ク

第八條 教官ハ各科ノ教授ヲ分擔シ教導大隊ノコトヲ兼攝ス



第九條 各科教官中高級ノ者一名ヲ其科長ト為ス

第十條 教導大隊ノ大隊長ハ戰術科科長大隊附中隊長及中隊附士官ハ教官ヲ以テ之ヲ兼子シム但學生ヲ以テ其幹部ノ一部ニ充ツルコトアルヘシ

第十一條 教官ノ下ニ教官補曹長(准士官)及助教曹長一等軍曹二等軍曹若干員ヲ置ク

第十二條 軍吏ノ下ニ書記及卒若干員

軍醫ノ下ニ看護長及卒若干員ヲ置ク

第十三條 戰術科ハ步兵戰術活用上ノ教育ヲ完全ナラシムルヲ目的トシ步兵各聯隊ノ中尉ヲ以テ其學生ト為ス但時宜ニ依リ步兵少佐若クハ大尉及工兵士官ヲ以テ其學生ト為スコトアルヘシ

第十四條 射擊科ハ射擊教官ヲ育成スルヲ目的トシ步兵中少尉及下士ニシテ其學術ニ適當ト認ムル者ヲ選抜シ



テ其學生ト為ス

第十五條 體操科ハ體操及劍術教官ヲ  
育成スルヲ目的トシ步騎砲工輜重兵  
科ノ少尉及下士ニシテ體格學術共ニ  
之ニ適當ト認ムル者ヲ選抜シテ其學  
生ト為ス

第十六條 教導大隊ハ學生訓練ノ用ニ  
供スルモノトス其下士兵卒ハ步兵各  
聯隊ヨリ之ヲ分遣セシム

第十七條 戰術科學生射擊科學生及體

操科與

ハ一年ヲ二期ニ分テ

其第一

九月ニ始リ一月ニ終

リ其第二

概テ二月ニ始リ六月ニ

終ルモノトス

劍術學

ノ學期ハ概テ九月ニ始リ六

月ニ終

ルモノトス

第十八條

各科學生ノ人員ハ其時々監

軍之

定メ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條

學生分遣ノ告達アレハ近衛

都督鎮

臺司令官ハ部下ノ聯隊長ヲ





テ其學生ト為ス

第十五條 體操科  
育成スルヲ目的トシテ  
科ノ少尉及下士ヨリ  
之ニ適當ト認ムル者ヲ  
生ト為ス

第十六條 教導隊ハ學生訓練ノ用ニ  
供スルモノトシテ其下士兵卒ハ步兵各  
聯隊ヨリ之ニ選セシム

第十七條 射擊科學生及體



操科學生ノ學期ハ一年ヲ二期ニ分テ  
其第一期ハ概ネ九月ニ始リ一月ニ終  
リ其第二期ハ概ネ二月ニ始リ六月ニ  
終ルモノトス

劍術學生ノ學期ハ概ネ九月ニ始リ六  
月ニ終ルモノトス

第十八條 各科學生ノ人員ハ其時々監  
軍之ヲ定メ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十九條 學生分遣ノ告達アレハ近衛  
都督鎮臺司令官ハ部下ノ聯隊長ヲ



中隊ハ大隊長獨立ヲシテ士官下士中  
身體強壯行狀方正勤務勉勵ノ者ニシ  
テ第十三條乃至第十五條ノ目的ニ適  
スヘキ者ヲ選定セシメ而シテ入校期  
十日前途ニ其名簿ニ考科表ヲ添へ戸  
山學校長ニ送達スヘシ

第二十條 學生士官ハ校外ニ其下士ハ  
校内ニ居住セシム

學生所要ノ兵器書籍器具消耗品ハ貸  
與スルモノアリ又支給スルモノアリ

其下士ニ在テハ雜具ヲ貸與シ食料ハ  
原隊ヨリ之ヲ支給セシム

學生ノ旅費ハ士官下士ヲ論セス總テ  
本校ニ於テ之ヲ支給ス

第二十一條 學生中ノ願屆其他業務ニ  
關スル件ハ總テ校長ノ管理ニ屬ス

第二十二條 學生ノ俸給ハ原隊ヨリ前  
月中ニ本校ニ交付シ同校ニ於テ之カ  
受授ヲ為スモノトス

第二十三條 學生ハ情願ヲ以テ歸省又



ハ退校スルヲ許サス疾病其他ノ事故  
ヲ以テ卒業ノ目的ナキ者ヲ退校歸隊  
セシムルハ例外トス

第二十四條 學生士官ノ乘馬演習ハ調  
馬隊ニ於テ之ヲ行ハシム

第二十五條 各學期ノ終リニ於テハ學  
生ニ大試験ヲ施シ以テ其列序ヲ定メ  
卒業證書ヲ付與シテ歸隊セシム但優  
等者ニハ別ニ賞状若クハ賞品ヲ與フ  
ルコトアルヘシ

第二十六條 學生下士ノ中學術優等ノ  
者ヲ選抜シテ員外助教ヲ命シ學生下  
士ノ教授ヲ補助セシメ之ニ若干ノ増  
俸ヲ給シ校内ニ居住セシム

第二十七條 教導大隊ノ下士及兵卒ハ  
ノ終リニ於テ其半數ノミ歸隊セシム  
六月若クハ七月ニ於テ其一半ヲ歸隊  
セシメ十一月ニ於テ之ヲ補充ス

第二十八條 教導大隊ノ下士ハ常備服



役尚ホ二箇年以上ノ期アル一二等軍曹ニシテ勤務勉勵身體強壯行狀方正學術優等ノ者ヲ選抜分遣セシム而シテ教導大隊ニ於テ應分ノ教育ヲ受ケ原隊ニ復歸ノ後其教育ヲ隊中ニ及ホスヘキ見込アルモノタルヘシ

第二十九條 教導大隊ノ兵卒ハ常備服役尚ホ一年九箇月ノ期アル上等兵及一二等卒ニシテ勤務勉勵行狀方正身體強壯ノ者ヲ選抜分遣セシム

第三十條 教導大隊ノ下士兵卒ハ學生分遣中ニ於テハ歸省休暇等一切之ヲ許サス

第三十一條 教導大隊ノ下士兵卒ハ教導大隊ニ編入スト雖モ名籍ハ原隊ニ之ヲ存シ隨テ諸給與ハ原隊ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨シ且武器背囊ハ之ヲ携帶セシムヘシ其旅費消耗品ハ本校ニ於テ之ヲ支給ス

第三十二條 教導大隊ノ下士兵卒ノ被



服ニハ本校ノ経費ヲ以テ特別ノ徽章  
ヲ附著ス

第三十三條 教導大隊ノ内務ハ概テ歩  
兵内務書ニ據リ施行スヘシ

内

階